

生産技術者の役割と 基本知識習得セミナー

～ 生産技術者が果たすべき3つの役割 ～

開催日時 2025年 5月26日(月)～27日(火) 東京会場
2025年 9月25日(木)～26日(金) オンライン
各回とも2日間 10:00～17:00

対象 • 生産技術部門スタッフ • 生産管理・工場管理部門スタッフ • 製造部門スタッフ

講師 橋本 賢一氏
JMA専任講師
(株)MEマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント 公認会計士

参加料(税込) 法人会員: 113,300円/1名
会員外: 124,630円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにて
ご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえ
お申し込みください。

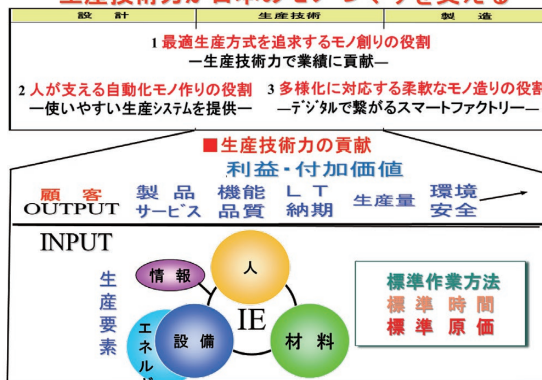
本セミナーのねらい

日本国内の製造業は“現場力”に支えられ、製造部門主体のモノづくりを続けてきた一方、生産技術は“設備屋”の役割を与えられてきました。生産技術は設計と製造を取り持つ工程設計が主務でしたが、設備からエネルギー・人・資材・情報へと生産要素の範囲が広がり、上下流にいる設計・製造の期待に応える役割も拡大しています。

- ① 最適な生産方式の追求するモノ創り
- ② 人が支える自動化モノ作り
- ③ 多様化に対応する柔軟なモノ作り

上記3つの役割に応える生産技術者の育成・強化は今後のモノ作りの要となり、その役割と基本知識を習得していただきます。

生産技術力が日本のモノづくりを支える



■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 生産技術者に必要なIEと原価知識

—経営視点から見た生産技術力—

- (1) 生産技術者の組織上の役割とスキル
- (2) 生産技術者の業績向上に果たす役割 **演習** コア技術
- (3) 自動化依存の生産性向上の限界 **演習** 投資の回収計算は正しい選択か?
- (4) 生産技術者に必要なIE知識
- (5) 生産性・コストダウンの2側面
- (6) 生産技術者に必要な原価知識 **演習** 原価計算演習

2 最適生産方式を追求するモノ創りの役割

—生産技術力で業績に貢献—

- (1) 設計アプローチで最適生産を構築 **演習** 設備効率問題
- (2) 最適設備は加工点設計から
- (3) 不良の出ない設備の設計
- (4) 標準作業方法・標準時間の設定
- (5) 基本機能だけで作業・工程をつなぐ **演習** ロボット作業の改善
- (6) 自動化は数量の多い対象から **演習** 省人化限度額の計算
- (7) 人と設備はゼロサムが分岐点

3 人が支える自動化モノ作りの役割

—使いやすい生産システムを提供—

- (1) 人の能力の限界を設備に託す
- (2) 人の標準の速さ
- (3) 人と設備の共創を演出
- (4) 人と設備の自律を演出
- (5) 人にやさしい自動化の推進 **演習** 人と設備の特性
- (6) 製造のKPI向上に貢献 **演習** 工数・設備効率の一体測定

4 多様化に対応する柔軟なモノ造りの役割

—顧客とデジタルで繋がるスマート工場—

- (1) マス・カスタマイゼーションの進展
- (2) 管理しやすい製造方式
- (3) 標準化で設計部門と連携強化 **演習** 自動化の優先順序決定
- (4) マス・カスタム生産を目指す
- (5) 顧客と繋がるスマート工場に向けて **演習** デジタル・マニファクチャリング
- (6) 生産技術者のスキルアップ

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

